

小学校編ワークシート活用法

別冊のワークシート
2～3ページの活用法だよ

このワークシートは、小学校学習指導要領における社会科第3学年の内容(2) 地域に見られる生産や販売の仕事での取り扱いを想定しています。

従来の学習では、スーパーマーケットの見学に行き、販売の仕事について学ぶことを通して、消費者の願いに合った販売者の様々な工夫をについて理解することが主でした。つまり、販売の仕事の目的は消費者の需要に応えることに重点が置かれていることが多かったように思います。しかし本来の販売の仕事の最大の目的は利潤追求であり、この視点についてはあまり触れられることはありませんでした。ここでは、その利潤追求についての視点を学習することで、世の中のリアルな部分を理解することができるようになるでしょう。

イメージキャラクター/ススム君小学生



なお、この授業は単元の終末にあたります。これまで学んできた知識・技能を活用しながら考えていく位置付けとなっています。そのため、パフォーマンス課題(7ページ参照)を位置づけています。このパフォーマンス課題を扱うためには、この授業の前に、販売の仕事について、店を見学したり、店の行なっている工夫について学習したりしておくことが必要です。(本時の学習に至るまでの授業過程参照)また、児童の身近な店について想起させながら、日常生活と結び付けることも大切となってきます。

これまでの学習を想起させるために販売の仕事の工夫についてこれまで学んだことを記述させます。ここでは、なるべく多くの児童に発言をさせ、これまでの学習が身に付いているかを確認します。この後のパフォーマンス課題の解決の重要な視点となります。

先生のコメントとして、これまでの学習で身につけた消費者の需要に応えようとしている販売の仕事の工夫の目的を抑えておきます。

これがパフォーマンス課題です。児童の日常生活とつなげて考えやすくするために、実際に児童が経験しているようなこと(例えば普段はどこのお店に買い物に行くのかを聞く)をイメージさせながら課題を提示します。

3つの店の例を提示してあります。児童の住む地域にある、似たお店の名前を挙げながら説明すると、児童は具体的なイメージをもつことができます。より詳細のデータは⇒別冊ワークシート4ページにある資料1を参照させます。

3つのお店のイメージを共有したのちに児童が考えていく本時の学習課題(学習のめあて)を設定します。

3つのお店を比較して、記入させます。その時、結論を最初に、その後に理由を記述させます。ツールミンモデルをイメージしています。ここでは、正解も不正解もないので、児童に日常生活と結び付けて自由に考えられるようにします。また、小集団交流や全体交流を行うことで、児童それぞれの価値観に触れることもできます。

本時の学習に至るまでの授業過程(モデル例)

時数	学習活動
1	スーパーマーケットでどのような買い物をしているのかを想起させ、スーパーマーケット(販売)の仕事についての学習の見通しをもたせる。
2	スーパーマーケットの仕事について、見学に行く際の調査する視点(よいところや工夫、インタビューしたいこと)を話し合う。
3/4	スーパーマーケットの見学(又は資料を見て)スーパーマーケットの仕事の様子について気づいたことをまとめる。
5	スーパーマーケットの売り場で見られた工夫についてまとめる。
6	スーパーマーケットで働く人の仕事や工夫についてまとめる。
7	スーパーマーケットの品物の産地を調べ、どの市や県、外国などでつくられたものがあるのかを知り、他地域とのつながりについて理解する。
8	スーパーマーケットの商品を売ること以外の取り組み(リサイクルやバリアフリー、清掃活動など)を調べ、地域貢献していることを理解する。
9	スーパーマーケットにくる客や保護者にインタビューしたことをもとに、お客さんのニーズに応える様々なサービスを行っていることを理解する。
10	本時

これまで、主観的だった児童の思考を客観的なものにしていきます。⇒別冊ワークシート5ページ資料3資料4を見せ、「今後、それぞれのお店はどうなっていくのか」「なぜお店はお客さんの願いに応えようとしているのか」などの発問を行います。こうして本時の学習のねらいである、消費者の行動による店舗の変化や販売者の利潤追求などの視点に迫っていきます。

最後に今日の学習を振り返ります。記述させた際に、最初に記述させた①の部分との変化について比較させることで、販売の仕事についての学習の深まりを実感させることができるでしょう。

小学校編ワークシート

お店のしごととわたしたちのくらし

年 組 番 氏名 []

- これまでの学習をふりかえて、スーパーマーケットではたらく人は、どのようにふうをしていたでしょうか?
はたらく人のくふう
- お話を読んで考えてみましょう。
今日の夕ごはんはカレーライスです。おうちの人のいっしょにカレーライスに入れる野菜を買いに行くことになりました。家のちかくには、3つのお店があります。この3つのお店のうち、どこか1か1かしよ野菜をかうとしたら、どこのお店にいくかを考えましょう。
- 今日の学習課題(学習のめあて)を書こう。
- 自分のいけんを書こう。
行くお店:
【りゆう】
- しりょうからお店の今後を考えてみよう。
- 今日の学習をふりかえろう。

店①

- 地元で育てた野菜を売っています。
- ねだんは少し高めです。

店②

- 高級な野菜を売っています。
- ねだんはとても高いです。

店③

- けいやくしている農家のものをたくさん売っています。
- ねだんはとても安いです。

お客さんのわがいと
むすびがついていたんですね。

① 本時の目標

食材を買う店を選択・判断する活動を通して、これまで学習してきた生産と販売の学習内容と結び付けながら、お店は、利潤の追求の側面も持ち合わせていて、客である私たちの行動次第で店の状況が変わっていくことがわかります。

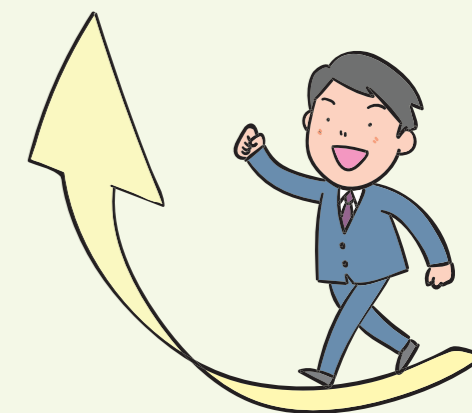
② 授業展開の骨子

時間	段階	教師と生徒のインストラクション	資料
0	導入	<p>▶ これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 品物のある場所や値段などを分かりやすく表示する お年寄りや障害のある人の専用駐車場がある <p>▶ 今日のパフォーマンス課題を提示する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今日の夕ごはんはカレーライスです。おうちの人といっしょにカレーライスに入れる野菜を買いに行くことになりました。家のちかくには、3つのお店があります。この3つのお店のうち、どこか1かしょで野菜を買うとしたら、どこのお店にいくか考えましょう。 </div> <p>本時の学習課題を設定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どこのお店に買い物にいくか </div>	ワークシート1 ワークシート2 資料1 「3つのお店のひかく」 ワークシート3
10	展開1	<p>▶ 自分の意見を考えたのち、交流をする</p> <p>私は店②に行きます。その理由は、おいしいカレーライスが食べたいからです。値段は高くても高級な野菜で作るカレーライスが一番おいしいと思ったからです</p> <p>私は店③に行きます。その理由は、家から遠いけれど、安いのでたくさん野菜が買えるからです</p>	ワークシート4 資料2 「地いきの人のこえ」
25	展開2	<p>▶ 3つのお店に共通する目的はなんだろう？</p> <p>お店によってちがいを出して、多くのお客さんに来てもらってたくさん売ることによって儲けを得るため</p>	
30	展開3	<p>▶ それぞれのお店はこの先、どうなっていくだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> 店①：地元で愛され、売上を伸ばしていく 店②：高いことで、客足が遠のき、閉店していく 店③：安いことが売りで、これから売上が増えていく <p>▶ お店がお客様の願いに応えようとする理由はなんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさんのお客さんに来てもらってたくさん売上を得るため 	ワークシート5 資料3 「お客様の人ずうの変化」 資料4 「お店の売上の変化」
40 45	終結	<p>▶ 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> お店は、たくさんの商品を売って儲けることで成り立っている。そのためにお客様の願いと結びつけて、たくさんのお客さんに来てもらうために様々な工夫を行なっていることがわかった。自分たちがお店を選んで行くことが、そのお店の今後を左右することにつながっているんだな。 </div>	ワークシート6

③ 指導案の解説

(1) この授業の売り!

これまでの授業では、販売の仕事の目的は、消費者の需要に応えることに重点が置かれていることが多いです。しかし本来、販売の仕事をしている企業の第一の目的は利潤追求です。利潤追求のために消費者の声を聞きそれに応えたり、社会貢献を行うことで持続可能な社会を築いたりと様々な工夫をしています。つまり、販売の仕事は、ただ単に消費者や社会のニーズに応えるために様々な工夫を行っているわけではなく、一企業として戦略的に工夫をしているのです。このリアルな部分を小学校3年生とはいえ、消費者市民として理解していく必要があると考えています。



(2) パフォーマンス課題とは

パフォーマンス課題とは、「知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような課題」のことです。(西岡2010)つまり、単元を通して身に付けた学習の知識や技能、働かせてきた見方・考え方などを駆使しながら解決を目指す課題とも言えます。だからこそ、単元の終末に位置付けているのです。また、パフォーマンス課題を設定する際には、この単元で学ばせたい重要な知識とスキルは何か、大人になっても子どもたちが身に付けておいてほしいような永続的な理解は何か、ということを考えることが重要です。



(3) 子どもの日常生活と結び付ける工夫を

子どもたちはおそらく日常的に買い物に行っています。その経験も駆使できるように、地域のお店にはどのようなものがあるのか、子どもの多くはどこのお店に買い物に行くのか簡単な事前調査を行なっておくとういでしょう。また、授業の中でも日常的な買い物を想起できるように「近くの〇〇〇(お店の名前)に似ているね。」「近くの〇〇〇でも同じことが言えそうかな。」などの補助的な発問を用意しておくとういでしょう。

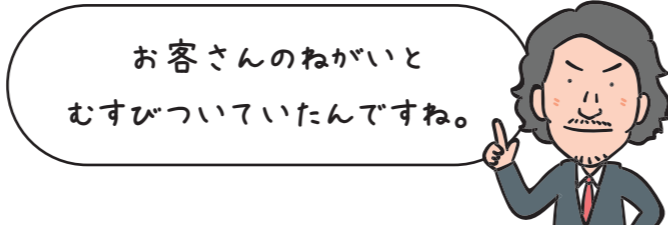


お店のしごととわたしたちの暮らし

年 組 番 氏名 []

1 これまでの学習をふりかえて、スーパーマーケットではたらく人は、どのようなくふうをしていたでしょうか？

はたらく人のくふう



2 お話しを読んで考えてみましょう。

今日の夕ごはんはカレーライスです。おうちの人といっしょにカレーライスに入れる野さいを買いに行くことになりました。家のちかくには、3つのお店があります。この3つのお店のうち、どこか1かしょで野さいをかうとしたら、どこのお店にいくか考えましょう。

店①

- 地元で育てた野さいを売っています。
- ねだんは少し高めです。

店②

- 高級な野さいを売っています。
- ねだんはとても高いです。

店③

- けいやくしている農家のものをたくさん売っています。
- ねだんはとても安いです。

3 今日の学習課題(学習のめあて)を書こう。

4 自分のいけんを書こう。

行くお店：
【りゆう】

5 しりょうからお店の今後を考えてみよう。

6 今日の学習をふりかえろう。

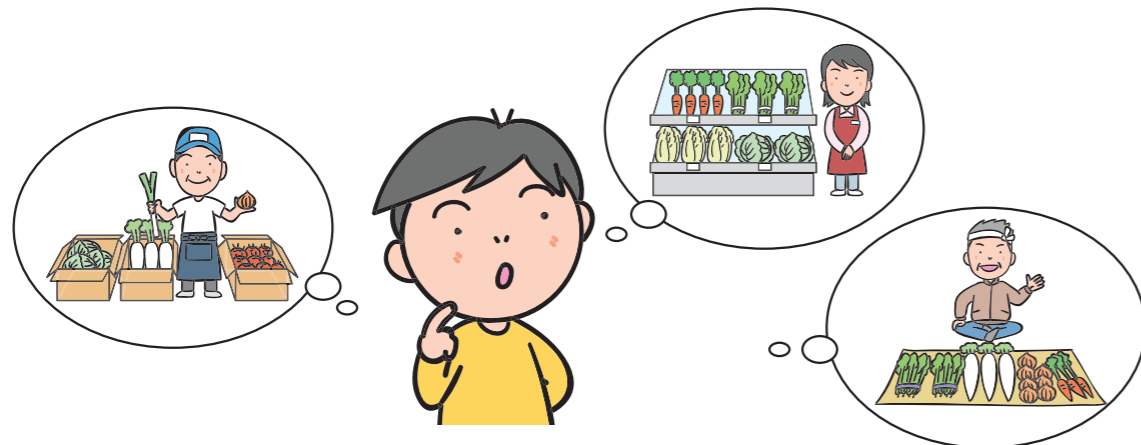
資料

資料1 「3つのお店のひかく」

	店①	店②	店③
とくちょう	地元の農家のかたが育てた野さいを売っています。	有名で高級な野さいを売っています。	お店とけいやくしている農家のものを売っています。
ねだん	<ul style="list-style-type: none"> たまねぎ(3こ) 150円 にんじん(3本) 160円 じゃがいも(4こ) 180円 	<ul style="list-style-type: none"> たまねぎ(3こ) 180円 にんじん(3本) 200円 じゃがいも(4こ) 200円 	<ul style="list-style-type: none"> たまねぎ(3こ) 120円 にんじん(3本) 120円 じゃがいも(4こ) 170円
家からのきより	車で15分	車で5分	車で30分
ちゅう車場	20だい	10だい	100だい

資料2 「地いきの人のこえ」

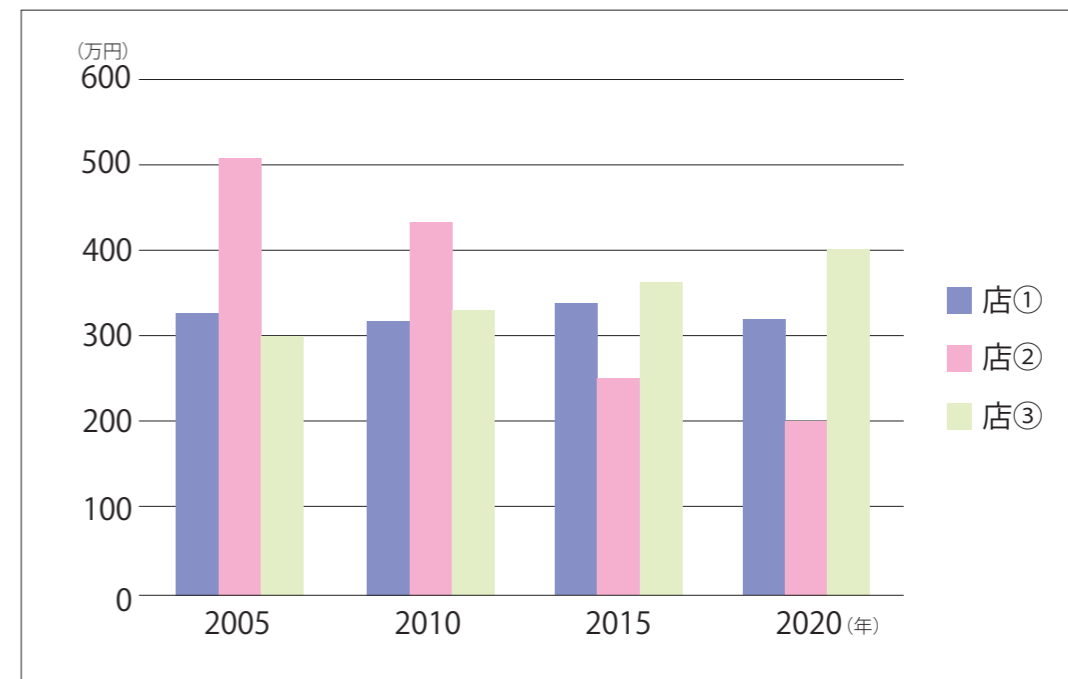
	店①	店②	店③
よい話	地元がよく知っている人がつくった野さいを買うことができる。	ねだんは高いが、その分いつでもどんなときでもとてもおいしい。	お店のけんさをクリアした農家のものを買うことができる。
よくない話	きせつやときによって、野さいの品しつがちがう。	高い分、いつも買い物することはできない。	いつも安いので、すこし不安になる。



資料3 「お客さんの人ずうの変化」



資料4 「お店の売上の変化」



解答例

お店のしごととわたしたちの暮らし

年 組 番 氏名 []

1 これまでの学習をふりかえて、スーパーマーケットではたらく人は、どのようなくふうをしていたでしょうか？

はたらく人のくふう

- ・ しょう品をおく場所をわかりやすくしている。
- ・ 広いちゅう車場をつくって車でも行きやすくしている。
- ・ 地いきのそうじなどの地いきこうけんをしている。

お客様のねがいと
むすびついてたんですね。



2 お話しを読んで考えてみましょう。

今日の夕ごはんはカレーライスです。おうちの人といっしょにカレーライスに入れる野菜を買いに行くことになりました。家のちかくには、3つのお店があります。この3つのお店のうち、どこか1かしょで野菜を買うとしたら、どこのお店にいくか考えましょう。

店①

- ・ 地元で育てた野菜を売っています。
- ・ ねだんは少し高めです。



店②

- ・ 高級な野菜を売っています。
- ・ ねだんはとても高いです。



店③

- ・ けいやくしている農家のものをたくさん売っています。
- ・ ねだんはとても安いです。



3 今日の学習課題(学習のめあて)を書こう。

どこのお店に買い物に行くか。

4 自分のいけんを書こう。

行くお店: ①

【りゆう】

たくさんの野菜が入ったカレーライスを食べたいし、安心して食べたいので、とても高いお店ではなく、だれが作ったかわかるお店で買い物をしたいから。

5 しりょうからお店の今後を考えてみよう。

- ・ お客様が来ないと、このあとお店が続いていなくなってしまう。
- ・ お客様のねがいにこたえているのは、たくさんのお客様に来てもらって、商品を買ってもらうことで、お金をかせいでいるんだ。

6 今日の学習をふりかえろう。

最初に、どこに買い物に行くかを考えました。

お店は、わたしたちが買うという行動をすることでお金をかせいでいます。だからお店はわたしたちのねがいをかなえようとしていることがわかりました。